

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-066134

(43)Date of publication of application : 06.03.1998

(51)Int.Cl. H04Q 7/22
H04Q 7/28

(21)Application number : 08-235924

(71)Applicant : NEC CORP
NEC COMMUN SYST LTD

(22)Date of filing : 19.08.1996

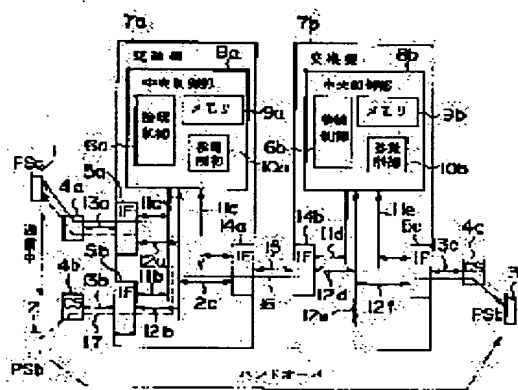
(72)Inventor : IHARA TAKAATSU
MITAMURA TAKESHI

(54) INTER-EXCHANGE HANDOVER METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a handover of PS between exchanges by allowing an exchange at a moving destination to execute a continuing operation of a communicating state based on handover information, including identification information and communication channel information of an exchange and moving terminal PS for PHS.

SOLUTION: When a PS2 under a communication with PS1 subordinate to an exchange 7a moves to a zone spot PSb of a base station CS4C subordinate to an exchange 7b to be PS3 and PS3 informs the exchange 7b of a handover, a moving control part 10b sets a prescribed inter-exchange handover request of a station number, an individual PS number to send to the exchange 7a. When a moving control part 10a detects an individual PS number of PS3, a connection controller 6a complements a time slot of a speech bus 12b prior to the handover of PS2 and the speech channel of a repeating interface 15 and connects the time slot of a speech bus 12a PS1 is using and then sends an inter-exchange handover response to the exchange 7b for connecting a time slot within 7b.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 19.08.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 02.03.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision]

of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-66134

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月6日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q 7/22			H 0 4 Q 7/04	K
7/28			H 0 4 B 7/26	1 0 7

審査請求 有 請求項の数 5 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-235924

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月19日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(71) 出願人 000232254

日本電気通信システム株式会社

東京都港区三田1丁目4番28号

(72) 発明者 井原 隆敦

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(72) 発明者 三田村 健史

東京都港区三田1丁目4番28号 日本電気通信システム株式会社内

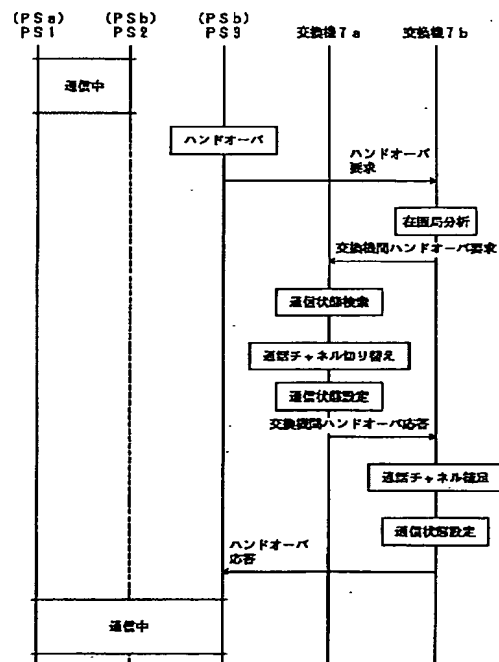
(74) 代理人 弁理士 桂木 雄二

(54) 【発明の名称】 交換機間ハンドオーバー方法

(57) 【要約】

【課題】 基地局間の移動時だけでなく、交換機間の移動時も通信中の呼を保持させるPHS用携帯端末のハンドオーバー方法を提供する。

【解決手段】 第1交換機7aに収容された第1基地局4bを通して第1通信チャンネル17で通信状態にある移動端末PSbは、第2交換機7bに収容された第2基地局4cの無線ゾーンへ移動する際に、第1交換機7aの識別情報を含む第1ハンドオーバー要求情報を第2交換機7bへ送信する。これを受信した第2交換機7bは第1交換機7a及び第2交換機7bの識別情報を含む第2ハンドオーバー要求情報を第1交換機7aへ送信する。第2ハンドオーバー要求情報に基づいて、第1交換機7aは移動端末PSbの通信チャンネルを第2通信チャンネル16へ切り替え、第2通信チャンネル情報を含むハンドオーバー応答情報を第2交換機7bへ送信し、第1交換機7aと第2交換機7bとの間で第2通信チャンネル16を通して通信状態が保持される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の交換機と、各交換機に収容された複数の基地局と、いずれかの基地局と無線チャネルで接続して通信を行うことができるPHS用の移動端末と、からなる移動体通信システムにおけるハンドオーバー方法において、

第1交換機に収容された第1基地局を通して第1通信チャネルで通信状態にある前記移動端末は、第1基地局の無線ゾーンから第2交換機に収容された第2基地局の無線ゾーンへ移動する際に、第1交換機の識別情報を含む第1ハンドオーバー要求情報を第2基地局を通して第2交換機へ送信し、

第1ハンドオーバー要求情報を受信した第2交換機は、第1交換機及び第2交換機の識別情報を含む第2ハンドオーバー要求情報を第1交換機へ送信し、

第2ハンドオーバー要求情報に基づいて、第1交換機は移動端末の通信チャネルを第1通信チャネルから第2通信チャネルへ切り替え、第2通信チャネル情報を含むハンドオーバー応答情報を第2交換機へ送信し、

前記ハンドオーバー応答情報に基づいて、第2交換機は第2通信チャネルを捕捉し、前記移動端末は第2交換機に収容された第2基地局を通して第2通信チャネルで通信状態を継続する、ことを特徴とするハンドオーバー方法。

【請求項2】 前記第1ハンドオーバー要求情報には、前記第1交換機の識別情報と、当該移動端末の識別情報と、前記第1通信チャネル情報とが含まれることを特徴とする請求項1記載のハンドオーバー方法。

【請求項3】 前記第2ハンドオーバー要求情報には、前記第1交換機の識別情報と、前記第2交換機の識別情報と、当該移動端末の識別情報と、前記第2通信チャネル情報とが含まれることを特徴とする請求項1又は2記載のハンドオーバー方法。

【請求項4】 前記第2通信チャネルは、前記第1交換機と前記第2交換機との間で使用される通信チャネルであることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載されたハンドオーバー方法。

【請求項5】 前記第2通信チャネルは、前記第1交換機と前記第2交換機との間に少なくとも1つの別の交換機が介在して設定されることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載されたハンドオーバー方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は移動体通信システムに係り、特にPHS(Personal Handy phone System)用の移動端末が無線ゾーン間を移動しても通信状態を保持する通話中チャネル切替(ハンドオーバー)方法に関する。

【0002】

【従来の技術】PHS携帯電話機などの移動端末が通信中に基地局の無線ゾーン間を移動した場合でもチャネル

を適切に切り替えて通信状態を保持することができるハンドオーバー方式は、例えば特開平05-328428号公報などに開示されている。この従来のハンドオーバー方式について、図8を参照しながら説明する。

【0003】図8に示すように、1つのPHS用携帯端末が位置2から位置3へ移動し、基地局4bの無線ゾーンから基地局4cの無線ゾーンのチャネルに切り替わる場合を考える。交換機7aは各基地局4b及び4cの間で時分割多重信号の同期をとり、無線チャネル対応のタイムスロットの交換を行う。交換機7aは、通信中チャネル切替要求情報を識別すると、基地局4bから基地局4cへの無線チャネルの切替と、交換機7aにおけるタイムスロットの切替とを行い、無断で通信中のチャネル切替を行う。以下、簡単のために、PHS用携帯端末をPS(Personal Station)、基地局をCS(Cell Station)とそれぞれ略記する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のハンドオーバー方式は、同一の交換機に接続されるCS無線ゾーン間を移動するハンドオーバーの場合のみを想定していたために、PSから送出されるハンドオーバー要求にはハンドオーバー前の局を識別できる番号が設定されていない。従って、通信中の呼を管理している交換機に接続されたCS無線ゾーン間をPSが移動する場合にのみ実行され、他の交換機に接続されるCS無線ゾーンに移動した場合には、その交換機がそのPSの通信中の呼を管理していないために圏外と判断され、呼が切断されていた。

【0005】そこで、本発明の目的は、基地局間の移動時だけでなく、交換機間の移動時も通信中の呼を保持させるPHS用携帯端末のハンドオーバー方法を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、複数の交換機と、各交換機に収容された複数の基地局(CS)と、いずれかの基地局と無線チャネルで接続して通信を行うことができるPHS用の移動端末(PS)と、からなる移動体通信システムにおいて、第1交換機に収容された第1基地局を通して第1通信チャネルで通信状態にある前記移動端末は、第1基地局の無線ゾーンから第2交換機に収容された第2基地局の無線ゾーンへ移動する際に、第1交換機の識別情報を含む第1ハンドオーバー要求情報を第2基地局を通して第2交換機へ送信し、第1ハンドオーバー要求情報を受信した第2交換機は、第1交換機及び第2交換機の識別情報を含む第2ハンドオーバー要求情報を第1交換機へ送信し、第2ハンドオーバー要求情報に基づいて、第1交換機は移動端末の通信チャネルを第1通信チャネルから第2通信チャネルへ切り替え、第2通信チャネル情報を含むハンドオーバー応答情報を第2交換機へ送信し、前記ハンドオーバー応答情報に基づい

て、第2交換機は第2通信チャネルを捕捉し、前記移動端末は第2交換機に収容された第2基地局を通して第2通信チャネルで通信状態を継続する、ことを特徴とする。

【0007】本発明の交換機間ハンドオーバー方式は、PSからのハンドオーバー要求にハンドオーバー前の局を識別できる番号を設定し、交換機間で送受される交換機間ハンドオーバー要求にハンドオーバー前の局を識別できる番号とハンドオーバー後の局を識別できる番号を設定することで、ハンドオーバー前の局では指定された個別PS番号に示されるPSの通信チャネルをハンドオーバー後の局に対して切り替えることが可能となり、交換機を移動しても通話を保持することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】次に本発明について図面を参照して説明する。以下、簡単のために、PHS用携帯端末をPS(Personal Station)、基地局をCS(Cell Station)とそれぞれ略記する。

【0009】図1は本発明によるハンドオーバー方法の一実施形態を説明するための移動体通信システムの概略的構成図である。

【0010】同図において、CS4a及び4bを収容する無線処理機能を有する交換機7aとCS4cを収容する無線機能を有する交換機7bとが中継インタフェース15を介して接続されている。CS4a及び4bは、CSインタフェース13a及び13bを介してそれぞれ交換機7aと接続されている。また、CS4cは、CSインタフェース13cを介して交換機7bと接続されている。

【0011】PSaは交換機7aに収容されたCS4aの無線ゾーン内の地点PS1に存在し、CS4aと接続され、更に同じ交換機7aに収容されたCS4bを通して別のPSbと通信中である。このハンドオーバー前のPSbは、CS4bの無線ゾーン内の地点PS2に存在する。このようにPSaと通信中のPSbが地点PS2から交換機7bが収容するCS4cの無線ゾーン内の地点PS3へ移動すると、次に詳細に説明するようにCSbと交換機7a、交換機7aと交換機7b、及び交換機7bとCS4cとの間で通信中のチャネル切替が行われる。

【0012】交換機7aは、PSbからのハンドオーバー要求と、交換機7a及び7b間の交換機間ハンドオーバー要求とを制御する中央制御部8a、中継インタフェース15を収容する中継インタフェース回路14a、中央制御部8aとCSインタフェース回路5a及び5b及び中継インタフェース回路14aとを接続する制御バス11a、11b、及び11c、CSインタフェース回路5a及び5bと中継インタフェース回路14aとを接続し音声信号が流れる音声バス12a、12b、及び12cから構成されている。

【0013】同様に、交換機7bは、PSbからのハン

ドオーバー要求と、交換機7a及び7b間の交換機間ハンドオーバー要求とを制御する中央制御部8b、中継インタフェース15を収容する中継インタフェース回路14b、中央制御部8bとCSインタフェース回路5c及び中継インタフェース回路14bとを接続する制御バス11d及び11e、CSインタフェース回路5cと中継インタフェース回路14bとを接続し音声信号が流れる音声バス12d、12e、及び12fから構成されている。

【0014】交換機7a及び7bの中央制御部8a及び8bは、それぞれPSa及びPSbの接続制御を行うPS接続制御部6a及び6b、ハンドオーバー制御を行うPS移動制御部10a及び10b、及びPSa及びPSbの位置情報が記憶されているPS位置管理メモリ9a及び9bを含む。

【0015】図2は、本実施形態で使用されるPSbからのハンドオーバー要求/応答情報に設定される情報要素を示す模式図である。同図に示すように、PSbからCS4cへのハンドオーバー情報には、ハンドオーバー要求/応答種別、ハンドオーバー前の交換機を示す局番号情報、個別PS番号情報、及び現在通話中のCS通話チャネル情報の各情報要素が含まれる。

【0016】図3は、本実施形態で使用される交換機間ハンドオーバー要求/応答情報に設定される情報要素を示す模式図である。同図に示すように、交換機7a及び7b間でのハンドオーバー情報には、ハンドオーバー要求/応答種別、ハンドオーバー前の交換機を示す局番号情報、ハンドオーバー後の交換機を示す局番号情報、個別PS番号情報、及び中継CS通話チャネル情報の各情報要素が含まれる。

【0017】図4は、本実施形態におけるハンドオーバーのシーケンス図である。以下、図1～図3を適宜参照しながら、図4に従って、交換機7aでPSaと通信中であつた地点2のPSb(PS2)が交換機7bのサービスエリア内に移動した場合のハンドオーバー動作について説明する。

【0018】交換機7aのサービスエリア内(地点PS2)でPSaと通信中のPSbが交換機7bのサービスエリア内(PS3)に移動すると、ハンドオーバー後の地点PS3でPSbはハンドオーバー要求を行い、CS4cを経由して交換機7bの中央制御部8bに通知される。このハンドオーバー要求は、図2に示す様にハンドオーバー要求であることを示す要求種別と、ハンドオーバー前の局である交換機7aを示す局番号と、地点PS3に存在するPSbの個別PS番号情報と、CSインタフェース回路5cのCSインタフェース13c上の通話チャネルを示すCS通話チャネル情報で構成されている。

【0019】このハンドオーバー要求を受信した中央制御部8b内のPS移動制御部10bは、ハンドオーバー前局番号を分析し、図3に示す交換機間ハンドオーバー要求を

10

20

30

40

50

送出する中継インタフェース回路14bを特定し、中継インタフェース15上の通話チャネルを補足する。そして、図3に示す交換機間ハンドオーバー要求のハンドオーバー前局番号情報に地点PS3のPSbから通知されたハンドオーバー要求に設定されているハンドオーバー前局番号を、ハンドオーバー後局番号情報に交換機7bの局番号を、個別PS番号情報にPSbから通知された個別PS番号を、中継通話チャネル情報に補足した中継インタフェース15上の通話チャネルをそれぞれ設定した交換機間ハンドオーバー要求を形成し、中継インタフェース15

10 を経由して交換機7aの中央制御部8aに送出する。
 【0020】その交換機間ハンドオーバー要求を受信した中央制御部8a内のPS移動制御部10aは、図3で示す交換機間ハンドオーバー要求のハンドオーバー前局番号情報を見て、自局7aであると判断し、個別PS番号情報をPS接続制御部6aに渡し、ハンドオーバー前の地点PS2のPSbと接続していたPSaを見つけたし、そのPSaがハンドオーバー前のPSbとの通信で使用していたCSインタフェース回路5aの通信チャネルと、ハンドオーバー前のPSbがPSaとの通信で使用していたCS

20 インタフェース回路5bの通信チャネルを見つけ出す。
 【0021】さらにPS移動制御部10aは、ハンドオーバーのために使用しなくなるハンドオーバー前のPSbがPSaとの通信で使用していたCSインタフェース回路5bの通信チャネルの解放要求と、交換機間ハンドオーバー要求に設定されていた中継通話チャネル情報が示す中継インタフェース回路14aを特定し、中継インタフェース15上の通話チャネルの補足要求をPS接続制御部6aに対して行う。更に、PSaの接続相手の通話チャネルがCSインタフェース回路5bから中継インタフェース回路14aに切り替わったことをPS位置管理メモリ9aに記憶する。

【0022】そして図3で示す交換機間ハンドオーバー要求の要求種別に交換機間ハンドオーバー応答を、ハンドオーバー前局番号、ハンドオーバー後局番号、個別PS番号情報、及び通話チャネル情報には交換機間ハンドオーバー要求の情報をそれぞれ設定して交換機間ハンドオーバー応答を形成し、それを交換機7bに送信する。その交換機間ハンドオーバー応答を受信した中央制御部8b内のPS移動制御部10bは、ハンドオーバー後の地点PS3のPSbからの図2に示すハンドオーバー要求に設定されていたCS通話チャネル情報が示すCSインタフェース回路5cのCSインタフェース13c上の通話チャネルの補足要求と、前述で補足していた中継インタフェース回路14bの中継インタフェース15上の通話チャネルの接続要求をPS接続制御部6bに対して行う。そして、PSaの接続相手がハンドオーバー後の地点PS3のPSbに切り替わった後、PSbに対して図2で示すハンドオーバー応答を返す。このようにして、交換機7a及び7b間

でのハンドオーバーが実行される。

【0023】以上の動作は、次のように言い換えることもできる。無線処理機能を有する交換機7a配下で通信中のPS1とPS2が存在すると仮定する。この状態で、PS2が交換機7a配下のCS4bから交換機7b配下のCS4cに移動するものと仮定する。

【0024】PS2がハンドオーバーしたPSbをPS3とすると、そのPS3は無線処理機能を有する交換機7bに対してハンドオーバー通知を行うことCS4cの無線ゾーンに入ったことを知らせる。このハンドオーバー通知は、CS4c、CSインタフェース回路5c、CSインタフェース回路制御バス11eを経由して中央制御部8bに通知される。中央制御部8bは、受信したハンドオーバー通知をPS移動制御部10bに渡す。PS移動制御部10bは、ハンドオーバー通知に含まれるPS3の個別PS番号を分析し、このPS3のホーム局である交換機7aを識別する。PS接続制御部6bは、ハンドオーバー前の局である交換機7aの局番号、ハンドオーバー後の局である交換機7bの局番号、及びPS3の個別PS番号を設定し交換機間ハンドオーバー要求を中継インタフェース回路制御バス11d、中継インタフェース回路14b、中継インタフェース15、中継インタフェース回路14a、及び中継インタフェース回路制御バス11cを経由して中央制御部8aに送出する。

【0025】中央制御部8aは、受信した交換機間ハンドオーバー要求をPS移動制御部10aに渡す。PS移動制御部10aでは、交換機間ハンドオーバー要求を分析し設定されているハンドオーバー前の局番号から自局であると認識したら、ハンドオーバーしたPS3の個別PS番号を取り出す。この個別PS番号をPS接続制御部6aに渡し、PS3がハンドオーバーする前にPS2で使用していた音声バス12bのタイムスロットを検索させる。また、中継インタフェース15の通話チャネル捕捉をPS接続制御部6aに要求し、その捕捉した中継インタフェース15の通話インタフェース15の通話チャネルと音声バス12cのタイムスロットの接続要求を中継インタフェース回路制御バス11c経由で中継インタフェース回路14aに送出する。そして、PS3がハンドオーバーする前にPS2と通信中であったPS1が使用していた音声バス12aのタイムスロットと前述において捕捉された中継インタフェース15の通話チャネルに接続された音声バス12cのタイムスロットとを接続する要求を中継インタフェース回路14a及びCSインタフェース回路5aに送出する。

【0026】接続完了後、中継インタフェース15の通話チャネルの情報を含む交換機間ハンドオーバー応答を中継インタフェース回路制御バス11c、中継インタフェース回路14a、中継インタフェース15、中継インタフェース回路14b、中継インタフェース回路制御バス11d経由で中央制御部8b内PS移動制御部10bに

送出する。PS移動制御部10bでは受信した交換機間ハンドオーバー応答を分析し、中継インタフェース15の通話チャネルの情報を取り出し、その通話チャネルと音声バス12dのタイムスロットの接続、及びその音声バス12dのタイムスロットとハンドオーバーしたPS3が使用する音声バス12fのタイムスロットとの接続をPS接続制御部6bに要求し接続する。そして、PS移動制御部10aはPS2が使用していた音声バス12bのタイムスロットを解放する。また、各PS移動制御部10a、10bは各PS位置管理メモリ9a、9bにハンド

オーバーしたPS3の在圏局が交換機7bに変更されたことを記憶する。結果、ハンドオーバーしたPS3とハンドオーバー前に通信中であったPS1は再び通信に戻る。

【0027】図5は、2以上の交換機を介して行われるハンドオーバーを説明するための概略的なネットワーク構成図である。図4に示した交換機7a及び7b間で送受信される交換機間ハンドオーバー要求及び応答は、図5に示すシステムでは交換機7cを介した交換機間で同様に

行うことができ、従って、交換機が複数断接続された場合であっても同様の効果を得ることができる。

【0028】なお、図2及び図3に示したPSからのハンドオーバー要求情報及びは交換機間ハンドオーバー要求情報は、図6及び図7に示す構成であっても良い。すなわち、図6において、PSからのハンドオーバー要求/応答情報は、ハンドオーバー処理であることを示す処理種別、ハンドオーバー前の局が識別できる情報要素（例えばシステムIDなど）、PSを特定できる情報要素（例えばPS-IDなど）、及び使用中であった基地局の通話チャネルを示す情報要素を設定して形成される。

【0029】また、図7において、交換機間のハンドオーバー要求/応答情報は、ハンドオーバー処理であることを示す処理種別、ハンドオーバー前の局が識別できる情報要素（例えばシステムIDなど）、ハンドオーバー後の局が識別できる情報要素（例えばシステムIDなど）、PSを特定できる情報要素（例えばPS-IDなど）、及び交換機間の通話で使用する通話チャネル情報要素を設定して形成される。このようなハンドオーバーの要求/応答信号を用いても同様の効果を得ることができる。

【0030】以上説明したように本発明の交換機間ハンドオーバー方法は、PSからのハンドオーバー要求信号からハンドオーバー前の局を割り出し、その局に対して交換機間のハンドオーバー要求信号を送出し、ハンドオーバー前の

局とハンドオーバー後の局で通話チャネルを切り替えるために、PSが通信中に交換機間を移動しても切断されことなく通話状態が保持されるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるハンドオーバー方法の一実施形態を説明するための移動体通信システムの概略的構成図である。

【図2】本実施形態で使用されるPSbからのハンドオーバー要求/応答情報に設定される情報要素を示す模式図である。

【図3】本実施形態で使用される交換機間ハンドオーバー要求/応答情報に設定される情報要素を示す模式図である。

【図4】本実施形態におけるハンドオーバーのシーケンス図である。

【図5】2以上の交換機を介して行われるハンドオーバーを説明するための概略的なネットワーク構成図である。

【図6】他の実施形態で使用されるPSbからのハンドオーバー要求/応答情報に設定される情報要素を示す模式図である。

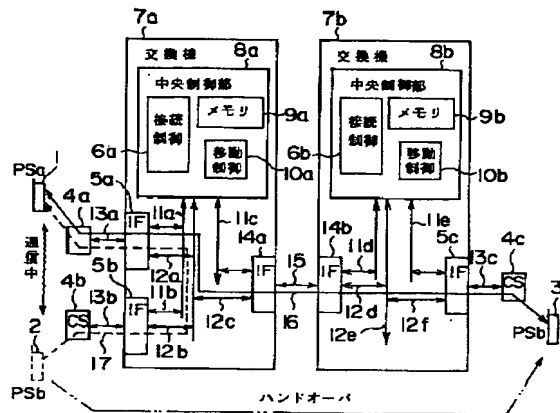
【図7】他の実施形態で使用される交換機間ハンドオーバー要求/応答情報に設定される情報要素を示す模式図である。

【図8】従来のハンドオーバー方式の一例を示すシステム構成図である。

【符号の説明】

1	: PS b と通信中の PS a
2	: ハンドオーバーする前の PS b
3	: ハンドオーバーした後の PS b
4 a, 4 b, 4 c	: CS
5 a, 5 b, 5 c	: CS インタフェース回路
6 a, 6 b	: PS 接続制御部
7 a, 7 b, 7 c	: 無線処理機能を有する交換機
8 a, 8 b	: 中央制御部
9 a, 9 b	: PS 位置管理メモリ
10 a, 10 b	: PS 移動制御部
11 a ~ 11 e	: 制御バス
12 a ~ 12 f	: 音声バス
13 a, 13 b, 13 c	: CS インタフェース
14 a, 14 b	: 中継インタフェース回路
15	: 中継インタフェース
16	: ハンドオーバー後の音声の流れ
17	: ハンドオーバー前の音声の流れ

【図1】



- 1: PSbと通信中のPSa
 2: ハンドオーバーする前のPSb
 3: ハンドオーバーした後のPSb
 4a, 4b, 4c: CS (基地局)
 5a, 5b, 5c: CSインタフェース回路
 6a, 6b: PS接続制御部
 7a, 7b, 7c: 交換機
 8a, 8b: 中央制御回路
 9a, 9b: PS位置管理メモリ
 10a, 10b: PS移動制御部
 11a~11e: 制御バス
 12a~12f: 音声バス
 13a, 13b, 13c: CSインタフェース
 14a, 14b: 中継インタフェース回路
 15: 中継インタフェース
 16: ハンドオーバー後の音声の流れ
 17: ハンドオーバー前の音声の流れ

【図3】

要求種別	ハンドオーバー 前局番号 情報	ハンドオーバー 後局番号 情報	個別PS 番号情報	中継通話 チャンネル情報
交換機間 ハンドオーバー 要求/応答				

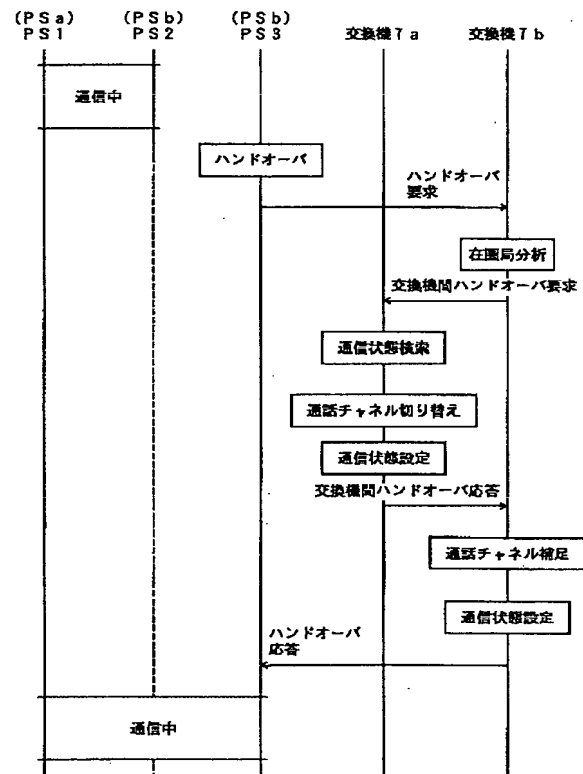
【図6】

要求種別	ハンドオーバー 前局が識別 できる情報	PSを特定 できる情報	使用中であっ たCSの通話 チャンネル情報
ハンドオーバー 要求/応答			

【図2】

要求種別	ハンドオーバー 前局番号 情報	個別PS 番号情報	CS通話 チャンネル情報
ハンドオーバー 要求/応答			

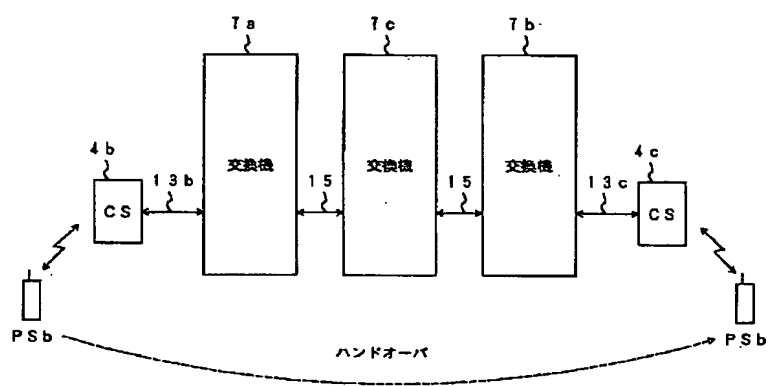
【図4】



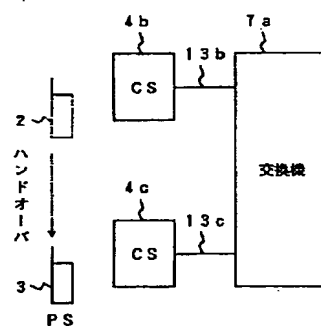
【図7】

要求種別	ハンドオーバー 前局が識別 できる情報	ハンドオーバー 後局が識別 できる情報	PSを特定で きる情報	交換機間の通 話で使用する 通話チャンネル 情報
交換機間 ハンドオーバー 要求/応答				

【図5】



【図8】



THIS PAGE BLANK (USPTO)